



「子供の町 チャリティフェスティバル 春日部」
社会福祉法人子供の町
理事長 齊之平 伸一

7月8日日曜日に春日部市ふれあいキューブとララガーデン春日部にて、「もっと知ろう児童養護施設子供の町チャリティフェスティバル」を開催致しました。

チャリティフェスティバルにあたりましては、埼玉県、春日部市を始め、関係する皆様に多大のご支援をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

子供の町後援会では、毎年、東京の明治記念館で、チャリティーバザーを行ってまいりますが、今回初めて春日部で、埼玉県のオレンジリボンキャンペーン(児童虐待防止普及啓発キャンペーン)の一環事業として開催致しました。

今回のフェスティバルでは、経営革新塾しよう会・日本ES開発協会・ララガーデン春日部の皆様が企画の段階からご協力いただき、春日部農産物直売協議会・ホソダ・リーベタカハシ・さくらの里・かすかべフードセレクション6店・光苑・かつやま・道の駅庄和・七夜・ボーダーケータリングの皆様が出店いただきました。

また、日本ES開発協会には、「こども仕事体感ラボ・こどもの遊び場」をご提供いただき、スタジオテルミン、福島量店のワークショップ、山元のオリジナルプリントの皆様が出店いただきました。

会場では、子供の町の子供たちが作成した「こまちアート」、子供の町の歴史、活動のパネル展示を行いました。

コンサート会場では、ウイーン国立音楽大学大学院

創刊：昭和24年11月
発刊：社会福祉法人 子供の町
児童養護施設 子供の町
児童養護施設 エンジェルホーム
地域小規模児童養護施設 菜の花
住所：〒344-0112
埼玉県春日部市西金野井337
TEL：048-746-0206
FAX：048-746-9215
HP：<https://kodomonomachi.jp/>

を修了された佐原敦子さんのバイオリン演奏、春日部市教育委員会のご協力の下、春日部市立武里小学校の合唱、春日部市立中野中学校の吹奏楽演奏がありました。更に、春日部共栄高等学校の吹奏楽演奏があり、大きな拍手とアンコールの声がありました。また、子供の町で40年にわたり子供たちと生活を共にしてきた根岸施設長の講演と子供の町のダンスチーム「K・A・D」の元気のいいパフォーマンスがありました。

このように盛沢山のアトラクションがあり、2000人もの来場者で広いふれあいキューブは賑わいました。

今回のフェスティバルでは、ララガーデン春日部がワークショップをご提供いただきララガーデンのお客様も多くご来場いただきました。

フェスティバルでは、全部は記載できないほどの多くの皆様より暖かいご支援、ご協力をいただきましたこと深く感謝申し上げます。

このイベントにより、多くの方に、児童養護施設を知っていただけたと思います。今後も子供の町へのご支援ご協力を切にお願いいたたく宜しくお願い致します。

「こうべを垂れる誠実さ」

子供の町・エンジェルホーム
施設長 根岸 昇

酷暑の夏休み、8月初には稲穂が頭を垂れ20日頃には稲刈り。急に涼しくなり新学期を迎えました。実に多様な姿を見せてくれた子どもたち、成長の糧にしてほしい。

さて、私たちは入所中の子どもたちを「子ども=未

成熟な人間」として評価・認識してかかわる傾向がありますが、「目の前の子どもは未来の社会人=成熟した人間」であるということを常に自覚して日々かかわることが大切だと痛感しています。

8月のある日、卒園生(27歳男性)が突然の来園。元担当者も休みで不在。しかし、前施設長が来園していたため再会し、就職時に社員寮に引っ越す際に手伝ってくれたことを感謝していました。今回はお盆休み(年休)を利用しての来園。寄付金(3万円)と菓子折り・お菓子・清涼飲料水を寄贈してくれました。寄付金については今回限りとして頂戴することにし、今後は自分の将来のために貯金するように伝えました。寄付金申込書に記入してもらい、寄付金控除用の領収書を発行しました。仕事は高校卒業時に就職した鉄道会社関連の某エンジニアリングで8年目。今は電車の電気系統の保守点検作業に従事しグループ責任者を担っているそうです。本人の話を聞きながら徐々に気憶が蘇りました。

実は、最初の入所依頼では「中3年で〇〇障害があり高校進学を希望している」と聞き断ったのです。しかし、県内全施設に断られて2周目の依頼があり、「入所とは関係なしで施設見学だけなら」と受けました。見学に来園した際に私と男性指導員で本人に面談した結果「この子ならば受けられるのではないか」という意見で一致して、クリスマス頃に入所を受け入れたのです。高校進学後は、常に成績が学年トップクラスだったと記憶しています。卒業時には成績優秀者として表彰されたと思います。電車に非常に興味が強く、いつも電車を見に出歩いています。憧れの電車関連の会社に就職したことで、転職することなく8年間継続できているのでしょう。「自分は子供の町に来て3年間お世話になったことで今の自分がある。だから少しでも恩返しをしたい。生活には困らないので、わずかですが受け取ってください。」と顔をくしゃくしゃにしながら語ってくれました。「一度入所を断った子どもから寄付金はいただけない」という思いでした。頭が下がります。今回だけはと念を押して、寄付金の入った封筒を受け取りました。

入所依頼の際には、どうしても児童相談所から送付される内議書類の内容で判断せざるを得ないのですが、文書上から受ける印象だけで子どもを評価することの危険性をあらためて感じました。子どもは成長するのです。今、目の前の子どもは数年後には社会人となり、私たちと同じ社会人として人間としての交流をする存在になるのだということを常に自覚し、「誠実さを胸に刻みながら」かかわることが何より大切であることを痛感しています。

「ご支援ありがとうございました、
そしてよろしくお願ひします」

社会福祉法人子供の町 事務長 森田 彰

7月に開催いたしました「子供の町チャリティフェスティバル」には、イベントに携わっていただきました皆様、ご来場の皆様から多大のご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。この紙面をお借りし、改めまして心より御礼申し上げます。地元春日部でのこのようなイベントは初めてということもあり、至らぬところも多々ありましたが、皆様からの温かいご支援やご協力ご厚情に接し感謝の思いです。また、当日ご来場のお客様には多くのご寄付をいただきました。この寄付は子どもたちのために大切に使用させていただきます。重ねまして心より御礼申し上げます。今回のイベントを通じ、少しでも児童養護施設の子どもたちについてのご理解いただけるきっかけになりましたら、私共も今後更なる励みとなります。

さて、私はこの4月から事務長を拝命いたしました。これまで社会福祉とは縁遠い業界におりましたため、戸惑うことも多く、まだまだ周りの職員の方々に(子どもたちにも)助けられている毎日です。しかし、これまでの経験を、未来を担う子どもたちの支援のために活かすことができるならば、私のキャリアの中でもこの上なく意義深いものになると考えています。

子供の町は来年には創立70周年を迎えます。昭和24年、主に太平洋戦争の戦災孤児を収容するために設立されたこの施設は、残念ながら現在は虐待被害で保護される子どもが過半数を占めています。いつの時代でもその時代背景に翻弄されるのが子どもたちです。いつの日にか、このような施設の必要性が問われなくなることが理想かと思われまふ。しかしながら、それがなかなか難しいのが現実でしょう。私たちはこのような子どもたちがいる限り、それぞれの幸せと心豊かで健やかな成長を見守ると同時に、社会的な自立を支援し続けていく必要があります。

子供の町では、現在、子どもたち約150人に対し、70人の職員が日夜奮闘を続けております。職員は早朝に出勤し夜遅くまで勤務、宿直もあります。親に代わり、2歳から18歳までの多感な子どもを相手にするため、決して容易な仕事ではありません。そのような状況にもかかわらず、子どもたちのために日々真摯に向き合っている職員を本当に頼もしく思います。誠実で熱心な職員のためにも、今、安心して仕事に専念できる環境づくりが求められています。安心して働ける労働環境があってこそ、初めて質の高いサービス(子どもの支援)を提供することが可能になることと思われまふ。子どもの支援に夢や希望を持って入

職した若い職員が、永く勤めることのできる職場を皆様と共に作り上げる必要性を感じております。

まだまだこれからも試行錯誤の日々が続くとは思われますが、役職員や地域の皆さまとの密接なコミュニケーションを大切にし、「子供の町」の正しい理解の推進や情報発信、そして次代の施設づくりにあたり、微力ではありますが尽力していきたく思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「子どもたちにとって最高の環境とは」

子供の町 副施設長 倉島 秀明

今年度、子供の町の副施設長を拝命致しました。創立から69年続く、施設の歴史や伝統を次の世代に継承していくため日々努力していきたく思っていますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、私の好きな言葉に「境遇が人を作るのではなく、人が境遇を作る」と言う英国の政治家ベンジャミン・ディズレーリの言葉があります。この言葉には、境遇（環境という言葉にも言い換えられます）が“人によって作られ、人によって変化する”という2つの意味を含意していると言えます。人が様々な環境によって“いかようにも変化する”という意味では、希望的でもある反面、大変重みのある言葉であるとも言えます。

それでは、子どもたちにとって“最良の環境”とはいったい何か、私は職員の皆さんと共に考え、志向していきたく思っています。現在、児童養護施設を取り巻く環境は昨年発表された「新たな社会的養育ビジョン」を契機として今、大きく変化しようとしています。

そうした時代の中で、子どもたちの生活環境を皆で考え作り上げていくという自負と、人と人との日々の触れ合いの中で子どもたちが前向きに変化していく、そのような施設をこれから目指していきたく思っています。

「ご挨拶」

エンジェルホーム 副施設長 堀江 豊子

酷暑で始まった夏休みが終わり子どもたちも元気に2学期を迎えております。

今年度4月1日より副施設長に着任いたしました。25年の在職期間中、22年間は現場で、子どもと毎日、悪戦苦闘しながらも成長を見守り続け、楽しさを見つけていたように思います。22年目以降の3年間は、里親支援専門相談員として務めさせて頂きました。里親委託では、不調もありましたが、2人の幼児さんを里親委託にさせたことは貴重な経験になりました。里親

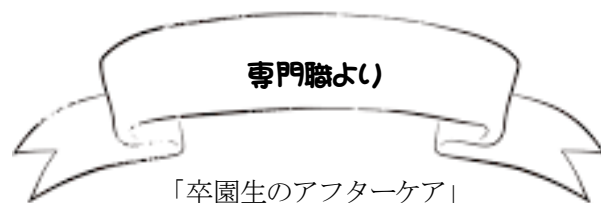
支援というお仕事で里親さん達と繋がり、また新たな人との繋がりが出来たことに喜びを感じています。

また、卒園生との交流もあり、それぞれお母さん業に励んでいる姿をみたり、結婚式に親代わりとして出席したり、施設職員として勤務させて頂いたお陰で、彼女達と出会いこの先も遠くから見守っていける幸せを感じています。

若い職員さんも今は大変だと思いますが、長く勤めていると嬉しいことがかえってくると思います。一緒に頑張っていきましょう。

一人の力より大勢の力で協働しながら子どもたちが安心安全に過ごせるよう、また職員の方々にとって働きやすい職場を一緒に作っていきたく思っています。これからは施設や法人全体のことを考え、施設長の補佐という重責を担うことになり身が引き締まる思いです。

まだまだ微力ではありますが、施設長はじめ職員方々と協働できるように努力をしていきたく思います。宜しくお願ひいたします。



「卒園生のアフターケア」

子供の町 家庭支援専門相談員 藤村 美子

家庭支援の仕事の一つに、卒園生のアフターケアがあります。子どもたちは退所するまでの時間を同年代の子たちや職員に囲まれ、とても大切に育ててもらい、にぎやかに過ごしてきましたが、施設をでたらいきなり一人になります。寂しさと不安で辛いこともたくさんあると思います。そんな時、子どもたちにどんな困難があり、どんな支援が必要なのか？一緒に考えていきたく思っています。施設での生活が長い子程、普通は親から自然と教わることも知らないということが意外に多く、問題に直面しないと「自分が何をしたらいいのかわからない」という事に気がつかないのです。以前、施設→グループホームを経て就職した子から「家具って自分でそろえるんだね」と言われたことがありました。今まで、生活の準備品は備えてあったので、自分でそろえるという事がわからなかったのです。今もこの子どもとは繋がっていて支援を続けていますが、施設にいる間だけでなく、退所後も繋がりが続ける事、そして、悩んでいる子どもに今、何を支援してあげる事ができるのかを一緒に考えていきながらフォローをしていきたく思っています。

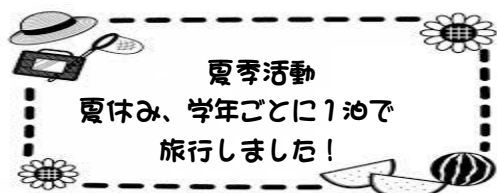
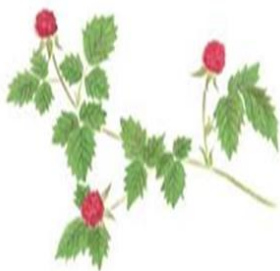
「野いちごカフェ」

子供の町 里親支援専門相談員 小池るり子

「野いちごカフェ」は、子供の町主催の里親サロンの名称です。この夏休みに、第3回野いちごカフェを開きました。当施設精神科嘱託医師の星野先生を囲んで、ベテランの里親さんから新米の里親さん、乳児院の里親支援専門相談員、フォスタリング関係機関の方等20名が参加して、日頃の悩みから里親制度の課題まで、和気あいあいと話をしました。

里親サロンは、里親さんの集まりではありますが、子供の町として「何ができるのか」考えたとき、施設の資源を利用していろいろな分野の方に参加していただくのも里親サロンの一つの在り方かな、と思っています。

「里親さんのお役に立ちたい」という願いを込めて、野いちごカフェは模索の最中です。多くの機関と連携し、里親さんのご意見を伺いながら、「児童養護施設で出来る支援」を野いちごカフェで提供させて頂きたいと思っています。



1年生 茨城県木漏れ日の森のイバライド

「小1 夏季活動の思い出」

子供の町 たんぽぽ 菅谷 堅志

分掌者の振り分け一覧を見た時に、小1夏季活動に私の名前が載っているとは…。まして責任者になっているとは思わず、用紙を二度見したことをはっきりと覚えています。

しかし一年生たちの楽しみにしている笑顔、「どこで遊ぶの?」と期待している声を聞いてやる気が漲ったのは言うまでもありません。

子ども達は元気に活動しバタバタしてしまった部分もありましたが、そこにもまた一年生らしさを感じ楽しい思い出となっています。



「かきかつどう」

子供の町 たんぽぽ K. T.

ぼくはなつやすみがはじまってすぐにかきかつどうでいばらいどにいきました。

さいしょにじゃぶじゃぶいけにはいって、ともだちとみずをかけあったりしました。

おひるごはんをたべたあとは、ぱんづくりでぼくはねこのぱんをつくりました。おいしかったです。

そのあとはどうぶつひろばにいきました。いりぐちのところどうさぎやふくろうをみました。すずむとかめやいんこやあるぱかやほかのどうぶつもたくさんいてびっくりしました。

たのしかったのでまたいばらいどにいきたいです。

「たのしかったかきかつどう」

エンジェルホーム 9寮 S. T.

ぼくは、みずあそびとゆうぐあそび、ぱんづくりをしてたのしかったです。すがやさんとじてんしゃにのってくるくるまわりました。ぱんづくりでははだいろのかーびーをつくりました。ぱすのなかでたべておいしかったです。かきごおりをあるきながらたべて、おみやげもかいました。いちにちたのしかったです。2ねんせいのかきかつどうもたのしみです。

2年生 栃木県日光鬼怒川方面

「小2夏季活動」

子供の町 わかば 佐藤 静香

今年の小2夏季活動は、日光にて、キャンプ場での川遊び、BBQ、ログハウス宿泊、鬼怒川ライン下りを行いました。2日間自然の中で過ごし、川で岩を滑ったり、生き物を探したり、生き生きした表情が見られました。ライン下りは雨の中での実施となってしまいましたが、船から身を乗り出して魚を探

したり景色を眺める姿が印象的でした。ちょっと残念な天気ではありましたが、それも含めて思い出に残ってくれたらうれしいです。

「かきかつどう」

エンジェルホーム 6寮 K. N.

ぼくは、かきかつどう1日目でかわあそびやバーベキューなどいろいろなことをしました。

その中でたのしかったのは、川あそびです。いろいろな石、岩などたくさんのもを見つけました。

2日目も川を下ったり温泉に入ったり、2日目もいろいろなことをしました。その中でたのしかったのは、おんせんです。ぎん風ろや、ろ天ぶろ、いろいろなばしょに入りました。たのしかったです。

「かきかつどうのおもいで」

子供の町 すみれ M. Y.

わたしは、日光まなかの森にいきました。川あそびをしてバーベキューをしました。おふろはおんせんでした。きもちよかったです。

きぬ川ライン下りをしました。ゴリラの岩やぞうさんの岩も見えました。たきも見えました。ラブンツェルいえのようなものも見えました。たのしかったです。

きぬ川温泉に入りました。ぜんぶのおんせんに入りました。つめたいおんせんもありました。たくさん入ってたのしかったです。



3年生 埼玉県秩父・長瀬方面

「小3 夏季活動」

エンジェルホーム 5B寮 工藤 彰人

小学3年生を担当し、秩父でラフティングや竹細工・流し素麺など種類に富んだ活動をしてきました。岩にぶつかりながら皆でオールの動きを合わせて波を超えていくラフティングは、判断力や瞬発力も必要となり、子供たちも手に汗握っての活動となりました。二日目は、竹から器と箸を作って流し素麺をする貴重な体験ができました。予想以上の酷暑でしたが、子供と職員全員が心から楽しむことで良い夏の思い出に出来たと思います。

「小3 夏季活動」

エンジェルホーム 5B寮 Y. M.

私は秩父で流し素めんをして、トラクターにのってこわれそうでこわかったです。ラフティングも水がとんできてとても冷たかったです。水分ほきゅうもしておいしいお茶を飲みました。お泊りの時お風呂が気持ちよかったです。夜は花火をして、花火が消えるときこわくなりました。一番楽しかったのは、竹で流し素めんを使うおわんとおはしを作ったことです。さいこうの夏休みになりました。



「かきかつどうの思い出」

子供の町 あおば Y. H.

ぼくは、かきかつどうで一番楽しかったのは、ラフティングです。さいしょらへんのなみのところがこわかったです。なれてきたら楽しくなりました。そしてわざとこうやくんが川におちようとしていました。ぼくは、「何やってんだこいつ」って思いました。

あとは、バーベQも楽しかったです。肉が食べられてうれしかったです。



4年生 茨城県神栖市波崎海岸

「小4 夏季活動を終えて」

エンジェルホーム 6寮 薮島 直人

今年度の夏季活動は海での活動でした。一日目は、天候に恵まれずほとんど海での活動ができませんでしたが、二日目は無事快晴。比較的長い時間海での活動を行うことができました。寮の枠を超え、遊んでも遊んでも飽きることなく、楽しそうに海ではしゃぐ子どもたちを見て、一緒に来る事が出来て良かったと心の底から思いました。天候等の事情から当日の急な変更が多くありましたが、子どもたちの笑顔を見ることができて良かったです。

「かきかつどう」

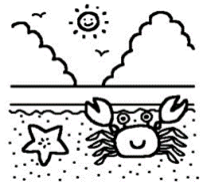
子供の町 3寮 R. Y.

うみにみんなでいってなみにタックルしたりうみにみずでっぼうをたてたりいろんなことをやりました。バーベキューもやりました。とってもたのしくてワクワクがとまりませんでした。

「楽しかった夏季活動」

エンジェルホーム

5A寮 M. N.



わたしは、7月30日～7月31日まで茨城県で楽しむことができました。海には、たくさんの貝がらがありました。わたしは、貝がらのりょうが多すぎたので、あげました。また、行きたくなりました。おみやげは、たくさんうっていました。海の水はしょっぱかったです。らい年は、秋季活動なので、とても楽しみです。

6年生 群馬県上野村まほ一ばの森

「小6 夏季活動」

子供の町 すいせん 中川 亮

6年生の夏季活動では、川遊びが前日の雨の影響でできず、1日目はアスレチックと鍾乳洞の見学、夜にはバーベキューや花火をしました。2日目も川にはいれず、話し合ってプールに連れていくことにしました。川遊びをさせられなかったことが悔やまれますが、急遽変更になっても子どもたちは「楽しかった」と言ってくれたのでよかったです。最後の夏季活動の良い思い出になってくれたらと思います。

「夏季活動のごはん日記」

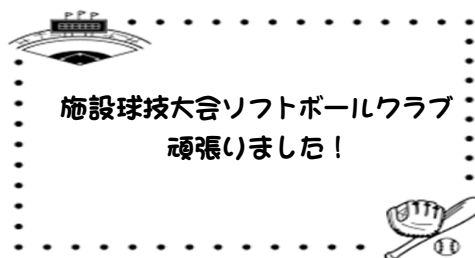
エンジェルホーム 6寮 M. M.

1日目のお昼はフォレストアドベンチャーで遊び、昼ごはんは手打ちざるそばを食べました。夜ご飯はバーベキューでした。その後は手持ち花火をやりました。線香花火をやろうと思ったら持つところに火がついてしまい、少し火傷もしましたが、ハラハラして楽しかったです。次の日の朝ごはんにはクロワッサンを食べました。そして、その後のプールでは一番奥に行ったため、息が続かなくなりそうなきもりましたが、楽しかったです。

「夏季活動に参加して」

子供の町 すいせん K. F.

私は、最後の夏季活動に行きました。まほ一ばの森へ行きました。アスレチックが高いところにあって最初はこわかったけど後から慣れてステージ2まで行きました。その後にスカイブリッジをわたって、関東最大級の鍾乳洞の不二洞に行きました。寒かったです。夜になってBBQをしたり、花火をしたりしました。次の日はプールに行きました。楽しい2日間になりました。6年間の夏季活動の中で一番の思い出になりました。



「今年のソフトボールクラブ」

エンジェルホーム 9寮 橋本 直樹

ソフトボールクラブの監督として2回目の夏になり、今年も暑い夏を子ども達と過ごすことが出来ました。今年も、ソフトボールを始めて日が浅い小学生が多く、昔からソフトボールクラブで頑張っていた子が高校生になり部活動で忙しく練習に参加出来る子があまりいませんでした。小学生の子達がメインでの練習が多く、ほとんどの子どもが始めたばかりということで、どのように子どもと練習していくかを難しい日もありましたが、子どもも職員も熱心に練習に取り組んできました。

合宿では、高校生の子の参加はほとんどなく、経験の浅い子がメインでの合宿になりました。初めは不安だったが、子ども達が暑い中、弱音を吐く事なく2日間の練習に耐え抜き、チームの底上げはもちろん子どもにとっても自信がつく合宿になりました。

大会では、残念ながら初戦敗退してしまいましたが、今後は楽しみなチームになっているなど感じる事が出来た夏になりました。



「ソフトボール大会」

子供の町 たんぼぼ 小5 Y. S.

8月23日に、行田市でソフトボールの大会に参加しました。

ぼくたちは一回戦目に愛泉寮と戦いました。ぼくは去年から通じて初めて試合に出てセカンドを守りました。愛泉寮は中学生が多く、ボールを後ろにそらしちゃうときがありました。1回だけ体で止めることが出来たけど、それから愛泉寮はホームランをかつ飛ばしてきました。

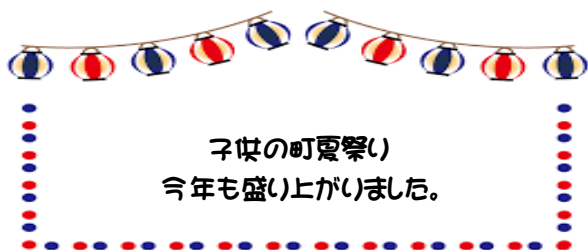
二戦目はケヤキホームでした。女子も2、3人くらいいてみんな上手でした。

来年は勝ちたいです。

「ソフトボールクラブ」

子供の町 3寮 小6 K. N.

ぼくは、ソフトボール大会でピッチャーをやりました。でも、1試合目の後半で、メンタルが弱く泣いてしまいました。だけど、今年のために、合宿も練習もがんばったのに、試合で泣くことができないと思い、出来なかった分声で埋めようと思いました。次の夏の試合は、メンタルも体も投げるのもきたえようと思います。



「夏祭りを終えて」

エンジェルホーム

家庭支援専門相談員 菅野 貴

今年度責任者として、夏祭りに関わった。

新たな試みの「浪江焼そば」やペットボトルの提供も好評だった。ダンスクラブの発表も、練習の成果が発揮され大いに盛り上がった。分掌者やボランティア、職員の助けがあり、何とか終えることができた。夏祭りに携わった全ての方に感謝したい。

「夏祭り」

子供の町 さくら 宇賀神 麻菜美

今年も子供の町の夏祭りが開催されました。私はかき氷の担当だったのでずっと作っていましたが子ども達が嬉しそうにかき氷等の食べ物を食べている姿

を見てとても微笑ましくなりました。ダンスクラブの発表も今年は先生がついてくれてとても盛り上がり、完成度もとても高かったと思います。毎年子ども達が楽しみにしている夏祭りの分掌になれて良かったです。今年の反省等は来年に引継ぎ、よりよい夏祭りになりたいです。

「夏祭り」

グローバルファミリー代表 盧 銀淑

グローバルファミリーは春日部市周辺の外国人と日本人が集まって、外国人たちが日本での生活に適応出来るようにしたり、外国人親の小学生たちに問題があったときなどに親が対応に苦勞しているときに助けたり、外国人と日本人の交流を進めたりする団体です。人数は50人ぐらいのメンバーが活動しています。

私が庄和町に引っ越してきた後に、子供の町を知る機会がありました。外国人たちがなにかを手伝うことができるのかを考えて子供の町を訪れました。そこで根岸さんと相談して数年前から夏祭りに参加することになりました。

子どもたちは学校の給食でもチヂミやカレーを食べる機会がありますが、本場の味を作ってあげようと思いました。カレーはパキスタンの方が子どもも食べられるように辛くならないようにしました。チヂミは材料に入れるエホバツというカボチャ系の野菜はズッキーニに似ています。チヂミは韓国ではお好み焼きのように、家庭でいつでも作って食べられる、簡単な料理として、海産物や野菜、キムチなど入れて作ります。

夏になると今年も子どもたちと夏祭りを一緒に出来るという期待を感じることが出来ます。最初に参加した年に、高校二年生の男の子たちがとてもおいしかったと言いながら、自分たちが来年がここに居られるのが最後になるので来年も是非来てくださいと言われて、お手伝いしたことに喜びを感じました。私たちは健康な限り続ける思いを持ちました。

今年は暑い日が多かったので毎年参加しておられるメンバーとブルーベリージュースを作ってくれた方などのボランティアさんたちもご苦勞様でした。

来年もよろしく願いいたします。

「夏祭り」

子供の町 すみれ 中2 U. I.

夏祭りを終えて成長できた事があります。それは、私がダンスをやる事で周りを笑顔にして、自分も笑顔になるという達成感を味わえた事です。私たちは約二か月間で新曲を覚え、踊る事ができました。本番当日

では、私たちKADが踊っているのを見て、見てくれた人達が全力で盛り上がっていて周りは皆笑顔でした。私はまだ先生には全然追いつけていないけど、もっと踊り、見てくれた人たちに最高の笑顔をお届けしたいと思っています。

「夏祭り」

エンジェルホーム 5A寮 中3 M. M.

私は、この夏祭りを通して、大人に頼るだけでなく子供だけで協力して頑張る大切さを学びました。初めて実行委員をやって、ミスをする事が多くて大変だったけど、お祭りが終わったあとに頑張った達成感を味わうことを出来ました。一番嬉しかったことは、片付けが終わったあとのおやつです。やっぱり頑張ったあとのおやつは最高でした。久しぶりに体を動かしたので、限界がきて眠くなってしまいました。疲れたけど、とても充実した1日になりました。



児童養護施設カルテットの方たちとの、ナイトハイク。
10人の子どもたちが完歩しました。

「ナイトハイク2年目を終えて」

子供の町 3寮主任 西村洋平

今年もカルテットの皆様と共にナイトハイクに参加させて頂きました。参加児童11名の内、半数以上が初参加という状況の中、リタイヤ者はわずか1名。その子も小4で20キロ以上歩き、夜中に眠気と疲れで限界に達していながら、悔しくて涙を流しながらリタイヤしていきました。完歩したいという目的意識とある種の意地を持って子どもたちがこのイベントに参加している事を改めて感じる事が出来、感動を覚えました。他の子どもたちは、昨年よりも2~3時間ほど速いペースで歩き切り、付添職員と感動を共有する事が出来ました。この場を借りまして、カルテットの皆様、ボランティアでご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

「ナイトハイク報告」

給食室主任 大井 隆二

日程、平成30年6月9日(土)から10日(日)。葛西臨海公園午後6時に出発し翌朝8時、児童養護施設カルテットに到着予定。参加は、Aチーム男子5名職

員2名。Bチーム男子2名女子4名職員2名。自転車自動車でのサポート各職員1名。

昨年に続き2年連続で参加させて頂きました。当日の天候が不安のある中、天候に恵まれ1名を除き10名が完歩でき前年度より2時間ほど早く到着出来ました。今回は、Bチームの活躍が目覚ましかった。完歩できた達成感は皆にあったと思う。

「ナイトハイクに参加して」

子供の町 すいせん 中2 K. H.

私は、ナイトハイクに参加しました。はじめは楽しそうだから、おもしろそうだからという理由で参加したのですが、いざやってみると、とても大変なものでした。50km近く歩くので、足はつかれるし、私は部活動をやってからきていたので、気持ち的にも、すごい辛いものでした。だからこそ、ゴールした時の感動を味わえてよかったです。

「ナイトハイクを振り返って」

子供の町 さくら 高3 K. H.

六月に行われたナイトハイクから二ヶ月が経った今、振り返ると改めて、参加できて良かったと思いました。その理由は、たくさんの方たちと一つの目標に向かって頑張る事が出来たからです。一緒に歩いた仲間やサポートをしてくださった職員の方々など、多くの人たちと関わることが出来て良かったです。私の中でとても良い経験になりました。

「ナイトハイクを終えて」

子供の町 3寮 中3 Y. Y.

6月9日~6月10日の二日間で葛西臨海公園からカルテットまで歩いていきました。僕は、ナイトハイクという行事は初めてだったので、葛西臨海公園からカルテットまでの距離だと、正直言うと体力がなくなってカルテットまで歩くのは無理かと思っていました。だけど、僕は最後まで歩き切って、楽しくやり切る事が出来たので良かったです。





子供の町あれこれ

◆築50年超の児童寮兼職員寮2棟を解体し、グランド(ミニサッカーコート・3×3バスケットコート)と駐車場を新設し半年経ちました。中高生男女がバスケットを楽しむ姿もよく見られます。でも、退職した古き時代の子供の町を知る人が来訪すると「私たちの知っている建物がなくなって寂しくなっちゃうわ!」住込み時代の職員は、喜怒哀楽を共にした児童寮がなくなり風景が変わってしまったことに寂しさを感じるのですね。

◆中2女児のことで駅前交番から電話。警察からの電話と聞けば、悪い知らせを想像するのが常と言っても子どもに申し訳ないが、その時も悪い知らせかと思いました。しかし、子どもの名前を聞いて?と思い、内容を聞いて安堵しました。彼女が路上で現金10万円とカード入りの財布を拾い交番に届け、持ち主からの報労金(5%~20%)やお礼を辞退したことについて、保護者への通知と保護者として同意するかどうかの確認でした。

本人の意思を尊重することと本人を大いに誉めてあげてほしいことを伝えました。その日の夕方には持ち主(外国人)が見つかったこと、「日本人は素晴らしい」と称賛していたことの警察報告がありました。正義感のある正直な子どもに育ってくれて、嬉しいです。 「正義に燃ゆる子どもらの 学ぶところよ 子供の町」(子供の町の歌より)

◆「ネギさん、話しようぜ!」いきなり施設長室に来る5歳男児。この時は「抜け出さないで話しに来たのは偉かったね」と誉めました。4月から6回ほど施設外への脱園を繰り返しています。理由を聞くと「だって〇〇さんが俺の話を聞いてくれない!」とか「お風呂に入りたくなかったから」など些細なことです。寮舎に出向き「どんな理由があっても施設外に出て行ってはいけない。嫌なことがあったら誰でもいいから相談してほしい」と伝えました。毎月の退避訓練の際にも繰り返し子どもたちに伝えているのですが。

◆小1男児のピアノ発表会を見に行きました。半ズボンに開襟シャツ、深くお辞儀をしてピアノの前に。「む

すんでひらいて」「ティンパニ」「猫ふんじゃった」3曲披露。ミスをしたら戻って弾き直して最後まで演奏し、最後もしっかりお辞儀が出来ていました。

いつもはトラブルメーカーで暴力的な面もありますが、職員の願いが伝わって形になっているのですね。前日は緊張感のあまり全身に蕁麻疹、夜間診療で点滴。埼玉県補助金を活用していますが、家庭とのつながりのない子どもにはもっともっと投資が必要!

◆恒例の夏祭り(8月26日)、グローバルファミリー(春日部市内在住の外国人グループ)による韓国チジミ・パキスタンカレーに加えて、福島県「浪江焼きそば」が新加入。

ちょっと太麺に感激!野田市の「むらさきの里」(岩本農園)のご厚意で子どもたちと摘み取りさせていただいた大粒ブルーベリーのジュースも最高でした。皆さんに感謝!!

春日部市長石川良三さんも来訪、子供の町ダンスクラブ「KAD」のパフォーマンスも最初と最後の2回披露してくれました。振付師と職員のダンスも超かっこいい!!

◆夏休み直前から子供の町・エンジェルホームの中高生(56名)と個別面談を実施。

普段はほとんど顔を見ることのない高校生もいます。特に驚いたことが2つありました。

一つは面談が終わった後に「有難うございました」と挨拶する子どもが7割近くいたこと。中には頭を下げて退室する高校生もいました。職員の日頃の対応によるものなのですね。もう一つは、将来の職業として児童養護施設職員・子供の町の職員・保育士を目指したいという中高生が6名(男2・女4)いたことです。身近な職業人として職員がモデルになっているのだと思います。全日制高校3年生3名は短大・大学進学希望で、現在、給付型奨学金申請手続きをしています。当事者が社会的養護を担う専門職に就くことは大きな変革をもたらす原動力になると思います。資金的援助が大きな課題ですが。



H30年6月～9月に寄付金・寄付品を頂いた方々(順不同・敬称略)
*7/8のチャリティフェスティバル、8/26の夏祭りへのご寄付の方も含まれています

青柳	一般財団法人 昭和会館	一般社団法人 日本ES開発協会
アットホーム	白石 和代	㈱ハウズドック
五十嵐 敬	庄和商工会	萩原 滉一
荒木 嗣則	城和 努	浜友観光㈱
アリックス株式会社	(有)人事・労務	長谷川 浩一
株式会社イシモ建設	鈴木 アサ子	NPO法人フードバンク埼玉
㈱市川寝具	スタジオホテルミン	福島量店
内堀医院	瀬田工業(有)	富士見乳児院
お菓子の家 スワン	㈱太平	ブルーベリー農園 岩本
春日部西ロータリークラブ	太平 内牧夢らんど	ベンチャーパートナーズ㈱
春日部農産物直売協議会	太平 かすかべ夢らんど	ボーダーケータリング
かつやま	太平 杉戸夢らんど	㈱ホソダ
北田 幸一	太平 平方夢らんど	㈱ホワイトアース
君塚歯科	太平 エルアンドエル	㈱マエカワ事務機
(有) 協栄ローラー工業	太平ブレイランド関宿店	松本 伸一郎
クリスピー・クリーム・ドーナツ・ジャパン	田澤 良子	マ・メールアンジュ
経営革新しよう会	田中 文男	道の駅 庄和
小泉 雅行	ダルトワ	三井住友海上火災保険㈱
光苑	チュチュアンナ	村田 小百合
小越 丈夫	つばさプラス	むら山
小島鶏卵	東急南桜井自治会長	㈱メディアテック
コストコ新三郷倉庫店	戸澤 陽子	もりいずみ靴店
㈱コダマホーム	DROPS(ドロップス)	㈱山元
齊之平 伸一	栃惣せんべい	(有)ヤマキ
三州製菓㈱	㈱並木樹脂	楽園 南越谷店・柏店・池袋店
㈱三和文具	中村梨園	リーベタカハシ
㈱島田サービス	七夜	他 匿名の方
司法書士さくら法務事務所	西金野井西区長	

*7/8チャリティーフェスティバルでの寄付金の合計は、1,210,485円となりました。

子どもたちのために、たくさんのご支援ありがとうございました

*子供の町のホームページを開設しております。是非ご覧ください。

<http://kodomonomachi.jp/>

子供の町後援会からお知らせ

後援会主催の明治記念館でのチャリティーバザーを、平成30年11月5日(月)に開催いたします。

後援会では、皆様の会費や寄付金・バザーの収益等で子どもたちの自立支援や進学支援を行っています。施設を出てからの生活基盤を準備することは、とても大変な事です。少しでも、子どもたちの不安を取り除いて、未来を支えてあげたいと思います。今年度は2名の大学生等が後援会からの奨学金を受けながら、自分の夢に向けて頑張っています。後援会の役員・会員の皆様、職員の応援は、とても大きなご支援になっています。

現在、チャリティーバザーの準備中です。もし、ご不用品等ございましたら、バザーにご提供いただけますようお願い申し上げます。

また、当日はぜひご来場いただけますようお願い申し上げます。

後援会へのお問合わせ 事務局 TEL 048-746-0206